



—福岡日英協会・福岡日伊協会 共催—



美術セミナー

「王立芸術アカデミーとミケランジェロ」

福岡日英協会、福岡日伊協会は、2022年に開催して好評いただいた「スコットランド国立美術館 THE GREATS 美の巨匠たち 美術セミナー」に引き続き、慶応義塾大学准教授(美術史)の荒木文果氏を再度講師にお迎えして、下記の通り「美術セミナー」を共同開催いたします。

今回のセミナーでは、「王立芸術アカデミーとミケランジェロ」をテーマに、ミケランジェロとイギリス芸術家たちとの関係について、お話しいただきます。なお、先着100名様とさせていただきます。ご希望の方はお早めにお申込みください。



王立芸術アカデミー



ミケランジェロ《トンド・タッデイ》

◇ 日時:2024年9月25日(水) 18:30~20:00

◇ 会場:福岡市美術館 1階ミュージアムホール

(福岡市中央区大濠公園 1-6 TEL092-714-6051)

※美術館展示室閉館後は、1階正面入口より入館ください。

◇ 入場無料/要事前予約/定員:先着100名

◇ 申込方法:別紙申込書に必要事項を記載のうえ、
FAX または Eメールでお申込み下さい。

◇ 申込締切:9月13日(金)必着

※定員に達した時点で締切りとさせていただきます。

※荒木先生からのメッセージ※

ロンドンの王立芸術アカデミーには、イタリアの巨匠ミケランジェロ・ブオナローティ(1475-1564)の《トンド・タッデイ》があります。芸術家は、この円形の浮彫りを故郷フィレンツェで制作しました。しかし本作は、巡り巡ってロンドンの王立芸術アカデミーの所蔵となり、以降、多くのイギリスの芸術家に影響を与えました。本講演では、ウィリアム・ホガース(1697-1794)やアカデミー初代院長ジョシュア・レノルズ(1723-92)が、ミケランジェロを特に重視していたことを確認します。そのうえで、《トンド・タッデイ》および同時期のミケランジェロ作品についてご紹介します。7月のイギリス・イタリア出張の写真を交えながら、現地の最新情報もお届けしますので、どうぞお楽しみに！

※荒木 文果 氏 プロフィール※

慶應義塾大学准教授(美術史)。福岡県出身。専門はイタリア・ルネサンス美術史。九州大学美学美術史学科卒業、同大学大学院人文科学府藝術学修士課程修了。2012年にローマ第一大学美術史学科にて日本人として初となる博士号を取得。東京大学に日本学術振興会特別研究員として在籍中に鹿島美術財団「財団賞」受賞(2013年)。2015年より慶應義塾大学専任講師、2022年より准教授。ローマで出版した単著が2022年にダリア・ボルゲーゼ賞を受賞するなど国際的にも活躍中(アジア人からの選出は初)。ママとずっと一緒にいたい5歳児の育児に奮闘中。

【事務局】 福岡日英協会 TEL092-476-2155 Email: fjbs.event@castle.ocn.ne.jp

福岡日伊協会 TEL092-476-2153 Email: aigfukuoka2@galaxy.ocn.ne.jp

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 1-3-6 Fax : 092-476-2634 担当 渡・本村・清家

別紙

福岡日英協会 行 **9月13日(金)必着**

FAX 092-476-2634

Email fjbs.event@castle.ocn.ne.jp

美術セミナー申込書

9月25日(水) 18:30~20:00 / 福岡市美術館 1F ミュージアムホール

参加者名 _____ (法人会員・個人会員・非会員)

同伴者名 _____ (法人会員・個人会員・非会員)

※会員欄に○をお付けください。法人会員の方は法人名と参加者名をご記入ください。

〒

住所 _____

TEL _____

Email: _____

※ご記入いただいた情報は当セミナーの運営のみに利用し、それ以外の目的での利用はいたしません。